

事務事業名		情報通信基盤災害復旧事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登録事業			
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目			
	施策名	011 交流連携を支える交通・情報ネットワークの充実				会計	款	項	目
	基本事業名	013 情報通信ネットワークの活用促進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 23 年度～ 24 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		01	11	06	06
根拠法令									
所 属	部課名	企画政策部企画調整課							
	係 名	情報係	電話 内線	136					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
ブロードバンドサービスが利用できない吉浜地区と、民間事業者によるADSL通信サービスが提供されているものの、収容局から遠隔であるため伝送損失が顕著である越喜来地区に対し、平成23年度に地域情報通信基盤整備事業を利用して光ファイバ網等の整備を行ったが、震災により施設の一部が被災したため、情報通信基盤災害復旧事業費補助金(補助率2/3)を利用して設備の復旧を行う。 なお、本事業は平成23年度繰越事業であり、一般財源(1/3)は震災復興特別交付税の対象となっている。						総投入量 (千円)	国庫支出金	28,063	
							都道府県支出金		
							地方債		
							その他		
							一般財源	14,032	
							事業費計(A)	42,095	
						人件費			
						正規職員従事人数	2		
						延べ業務時間	600		
						人件費計(B)	2,400		
						トータルコスト(A)+(B)	44,495		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
情報通信基盤災害復旧事業費補助金を利用して復旧工事を行い、平成24年2月に工事が完了した。サービス提供通信事業者の準備期間を経て、平成25年5月より被災地域において超高速インターネット接続サービスの供用を開始する予定である。		ア	復旧が必要な光ファイバ設備の延長
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
復旧した設備を利用し、平成25年5月より対象地区すべてで超高速インターネット接続サービスの供用を開始する予定である。(平成25年5月1日サービス提供開始済み)		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
越喜来、吉浜地区の世帯。		名称	
		単位	
		カ	地区の世帯数
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
超高速インターネット接続サービスを利用できる環境が整う。		名称	
		単位	
		サ	被災したブロードバンド設備の復旧率
		シ	
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
越喜来・吉浜地区全域で超高速インターネット接続サービスの利用が可能となり、快適に情報を取得できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(目標)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円		28,063			
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		14,032			
	事業費計(A)		千円	0	42,095	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1			
		延べ業務時間	時間	100	500			
		人件費計(B)	千円	400	2,000	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	400	44,095	0	0
⑤ 活動指標		ア	m	9042				
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	戸	1435				
		キ						
		ク						
⑦ 成果指標		サ	%	100				
		シ						
		ス						

事務事業ID	1485	事務事業名	情報通信基盤災害復旧事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 総務省の「u-Japan政策」や「ICT政策大綱」において、2010年(平成22年)頃までに、ブロードバンド・ゼロ地域の解消が目標に掲げられたことを受け、平成22年度に地域情報基盤整備事業を利用して、平成23年度に吉浜地区と、越喜来地区にFTTH方式で線路設備を整備したが、震災により光ファイバ網等の設備の一部が被災したため、その復旧を行うこととした。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 復旧事業は原状回復が原則であるが、震災により民家等が流出したため、一部地域においては原状回復が困難であること、光ファイバを共架するための電力柱やNTT柱の位置が変更となっていること、応急仮設住宅や高台移転等の事業により、光ファイバ網の延長等が必要になった区域があることから、被災した光ファイバの延長と復旧予定である光ファイバの延長は一致しない。(被災した光ファイバ延長9,773m、復旧予定の光ファイバ延長9,042m)	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 設備が被災したため供用開始地域が吉浜地区の一部に限定されており、地元住民や事業者より、早期の復旧とサービス供用開始が望まれている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 超高速インターネット接続サービスが利用できる環境を整えることにより、地域情報格差の解消と地域住民の利便性の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 整備した光ファイバ網は市所有の設備であるため、その復旧は市が行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象が意図する状態は、結果に結び付くため、どちらも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 事業完了に伴い、これ以上の成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 被災地域において超高速インターネット接続サービスの利用ができなくなり、利便性が低下することから、利用者や地域住民の理解を得られず、また、国の方針にも合致しないこととなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業が存在せず、他に復旧する手段がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 現状復旧が原則であるため、光ファイバのルート変更や工法に自由度がないこと、光ファイバ網には一定の品質が求められ、部材等の品質を下げるできないことから、これ以上の削減余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 職員が以前の体制から1名減員となり、これ以上の人員削減は不可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 被災地域においても他地域と同様に超高速インターネットの利用が可能となり、地域情報格差が解消されるため、公平である。 また、受益者負担は民間整備地区と同様であり、公平である。

事務事業ID	1485	事務事業名	情報通信基盤災害復旧事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成24年度で災害復旧事業が完了し、サービス提供通信事業者の準備期間を経て、平成25年5月より、対象地区すべてで超高速インターネット接続サービスの供用を開始される見込みである。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度で災害復旧事業が完了し、サービス提供通信事業者の準備期間を経て、平成25年5月より、対象地区すべてで超高速インターネット接続サービスの供用が開始される見込みであることから、これをもって復旧事業の目的が達成されるため、事業廃止(完了)とする。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
平成25年5月より、対象地区すべてで超高速インターネット接続サービスの供用が開始される見込みであることから、これをもって本事業の目的が達成されるため事業完了となる。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	企画政策部企画調整課長
-------	-------------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																							
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																							
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																							
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	復旧工事は監督員の監理のもとで適正に実施された。																					
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																					
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
(上記方向性に対する具体的な内容) 平成24年度で災害復旧事業が完了し、平成25年5月より、対象地区すべてで超高速インターネット接続サービスの供用が開始される見込みである。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
